

屋島山上交流拠点

屋島山上交流拠点は、屋島の山頂からの眺めを楽しむのに最適な場所のひとつだ。新屋島水族館の横にあるこのビジターセンターは、多目的に利用されている。訪れた人と地元の人との文化交流の拠点であり、展望台であり、地域のランドマークであり、ギャラリーであり、テラスでもあるという、多面的な役割を果たしている。設計コンペを勝ち抜いたのは、周防貴之氏が設立した京都の建築事務所「SUO」で、プロジェクトは SUO ともう一つの建築事務所の「Style-A」のコラボレーションによって実現した。

不規則なカーブを描くユニークな形状の建物は、周囲の環境に溶け込みながらも、自然環境を際立たせるようにデザインされている。建物の片側は高松市と瀬戸内海に面しており、大きな窓からその景色が一望できる。展望スペースの北側には、1185 年に行われた屋島の戦いを描いたパノラマアートを展示したギャリースペース「パノラマ展示室」がある。円形のホールでは、絵を 165 度の角度で見ることができ、没入感を味わうことができる。

また、ビジターセンターにカフェやギフトショップも併設されている。建物全体をぐるりと一周することができ、その中心には広場と複数の小さい緑地が設けられている。